



カリifornia大学バークレー校のSummer Peace Instituteに
参加したIARU GSP 受賞者の宮谷 聰（中央）とクラスメート



書道体験の成果を見せるUTRIP受賞者
アニルッダ・バパト（左）とエルトン・ホー

2013年度受賞者についての詳細は…p.3



FRIENDS OF TODAI, INC.

2013年度報告書

目次

1. FOTI 組織表
理事長からのご挨拶
2. 2013年度サマー・スカラシップとインターンシップ・プログラムのご報告
- 3 - 4. FOTI グローバル・リーダーシップ賞受賞者の表
5. 東大での二つのレセプション
6. カブリIPMUプログラムへFOTIの支援続く
7. コロンビア-東大の共同講義への資金提供二年目に入る
- 7 - 8. 2012 - 2013会計年度の募金結果と会計報告
8. 2012 - 2013会計年度財務諸表の要約
9. 2012 - 2013会計年度寄付者芳名録

FOTI 組織表

理事会

理事長 小林久志
プリンストン大学
名誉教授、元工学部長

総務担当 小林秀太
Pricewaterhouse Coopers
LLP マネージャー

財務担当理事 桑間雄一郎
Beth Israel Medical
Center、
東京海上記念診療所院長、
アルバート・アインシュタイン医科大学臨床准教授

大学担当理事 山田雅章
プリンストン・プラズマ
物理研究所、栄誉研究員

理事 濱田宏一
イエール大学名誉教授、
東京大学名誉教授

理事 江川雅子
東京大学理事

理事 伊藤澄子
Arcadia Capital, Inc. 社長、
ニューヨーク銀杏会副会長

名譽理事長 棚田淳二
Nagashima, Ohno &
Tsunematsu NY LLP
パートナー、ニューヨーク
銀杏会名譽理事長

名譽理事 小宮山宏
三菱総合研究所（株）
理事長、東京大学名誉総長

諮問委員会

岸岡駿一郎
シカゴ赤門会名誉会長、
ITA, Inc. 会長

ギータ・メータ
コロンビア大学教授
(非常勤)

岡本康夫
Hughes, Hubbard & Reed
LLP パートナー、ニュー
ヨーク銀杏会理事長

桜井信子
さつき会アメリカ幹事

田村史子
ニュース・コーポ
移転価格ディレクター

コー・ヤン・タン(董 克勇)
Morrison Foerster 上席顧
問 (Senior Counsellor)

選考委員会

委員長

山田雅章
FOTI 大学担当理事、
プリンストン・プラズマ
物理研究所、栄誉研究員

委員

小林久志
FOTI 理事長、
プリンストン大学
名誉教授、元工学部長

松下重惠
Japan Wink
Communications、元社長、
Member of the Japanese
Computer Pioneers

大迫政子
FOTI スタッフ
国際長寿センター・
グローバルアライアンス
事務局長

桜井信子
FOTI 諮問委員、
さつき会アメリカ幹事

ウェブマスター

エイミ・ヴァイダ
Amy I Productions

英文エディター

ブライアン・マーク
ジョージ・メイソン大学
教授

理事長からのご挨拶



東京大学の国際化への努力の一環として小宮山宏前
総長の発案で、棚田淳二氏を初代理事長として 2007
年秋に誕生しました私共の組織 Friends of Todai,
Inc. は早くも満 6 歳になりました。この間、米国シ
ンテック社（信越化学工業の米国子会社）を初めと
し、ご寄付を賜った皆様に深く御礼を申し上げます。
濱田純一総長、FOTI 理事会、諮問委員会、選考委
員会、東大渉外本部、それに数多くのボランティア
の皆様のご尽力により私共の活動も年々充実して参りました。

2011 年から本格的に始まった FOTI 夏季奨学生プログラムは東大生
はもとより、米国の主要大学の学生達にも、その知名度が上がってま
いりました。今年夏の奨学生 19 人を加えますと過去三年で FOTI グ
ローバル・リーダーシップ賞の受賞者は累計 50 人（東大生 24 人、米
国大学生 26 人）になります。2010 年夏に東大応用物理学科の有田亮
太郎研究室でインターンシップをした MIT のニコラス・ポアルベ
ル君（現在ハーバード大学）を加えますと 51 人になります。

研究助成の面では、アメリカにおける日本研究への関心を復興させる
ために設立された東大・イエール・イニシアティブの主催するシンポ
ジウム等を 2010 年より 2 年間援助させていただき、2011 年からは、
宇宙の謎を解き明かす物理学・数学を研究する東大のカブリ IPMU

(Kavli Institute for the Physics and Mathematics of the Universe) とカリフォルニア大学バークレー校の理論物理研究センターの若手研
究者達の交流を援助しております。更に 2012 年からは、コロンビア
大学と東大が共同で手がけている凝縮物質物理の大学院生向けのカリ
キュラムの開発や受講に参加する両大学の大学院生の渡航・滞在費など
に使う目的で助成金を出しています。

東大の国際化プログラムも着々と拡大・多様化しており、それをサポー
トする FOTI の役割に寄せる期待と要求もこれから更に高まるこ
とと思います。今後、皆様からこれまで以上のご支援を賜りますようお願
い申し上げます。

東京大学の英語での略称が最近 Todai から UTokyo に変更されま
した。Friends of Todai, Inc. の名称の変更も只今検討中ですが、これか
ら開始する第 5 回募金活動キャンペーンのさなかの名称変更は混乱を
招く恐れがありますので、2014 年春頃までは現在の名称を引き続き
使う予定ですのでご了承下さい。

今後の活動の内容や資金面での拡充に関して、皆様からのアイデアや
ご助言をお待ちしております。president@friendsoftodai.org 宛にご意
見をお寄せ下さい。

理事長 小林久志
2013 年 12 月吉日

2013年度サマー・スカラシップとインターンシップ・プログラムのご報告



東大でのGSP参加者NEC社の
筑波研究所を訪問

FOTI ニュースレター 第7号と第8号にご報告致しましたように、8人の東大生が2013度夏季のFOTIグローバル・リーダーシップ奨学金 (FOTI-Global Leadership Award 略称 FOTI-GLA) を受賞しました。留学先による内訳は、カリフォルニア大学バークレー校 (UCB) でのGSP(グローバル・サマー・プログラム) 参加者3人、イエール大学でのGSP参加者1人、イエール大学のELI(英語研修講座)参加者2人、同大学サマースクール (YSS) 参加者1人。GSP, ELI, YSS とは別に東大生が自ら探して見つけた米国でのサマー・プログラムに応募した学生の中から2人にFOTI奨学金が与えられました。奨学金の額は\$3,000-\$4,200で、プログラム参加に要する費用と学生のニーズにより差があります。

一方米国大学学生のFOTI-IGA受賞者は今年は合計1人でした。内訳は、東大GSPへの参加者2名、理学部のインターンシップ・プログラム (UTRIP)への参

加者6人、MISTI (MIT International Science and Technology Initiative) の紹介で東大の研究室でインターンシップをしたMIT学生2人となります。UTRIPプログラムに関しては、全米からの応募者が昨年の40余名から120人以上に増え、FOTIは受賞者数を去年の3名から今年は6名と倍増しましたが、FOTIの選考委員会にとり、多数の優秀な応募者の中からわずか6人の受賞者を選ぶのは大変難しいことでした。

この夏を米国で過ごした東大生の多くが世界観、日本に対する考え方、将来のキャリア計画が大きく変わったと報告しています。米国の大学院への留学や米国の研究機関でのポスト・ドクへの道を真剣に考え始めた学生もいるようです。一方、米国大学からの学生達は東大で貴重なりサーチ経験を積み、日本の友人との絆を強くし、東大および日本の文化・社会について好印象を受けたと全員報告しています。これら日米の学生たちが将来グローバルリーダーとして世界を担っていく人材に成長されていくことを期待しています。FOTIのプログラムに携わった東大および米国大学の教授陣およびプログラム担当の方々に厚くお礼を申し上げます。また、FOTIに多額の寄付を下さった米国および日本の方々と米国シンテック社に深く感謝致します。

2013年度FOTIグローバル・リーダーシップ奨学金受賞者の名簿と報告書がFOTIウェブサイトのニュース・セクションとブログに掲載されました。

FOTI-GLA 奨学金受賞者の名簿をご覧ください jp.friendsoftodai.org/?page_id=1115



FOTI-GLA 奖学金受賞者の報告書をご覧ください www.friendsoftodai.org/?page_id=803



FOTI グローバル・リーダーシップ賞受賞者リスト

UCB（カリフォルニア大学バークレー校）・イエール大学でのGSP（Global Summer Program）

宮谷 聰



- ・東大、4年・航空宇宙工学
- ・カリフォルニア大学バークレー校（UCB）でのGSPコース「平和に関する夏季の研究所」
- ・2013年6月3日 - 2013年7月13日
- ・satoshi.athlete@gmail.com

田村 海



・東大、2年・教養学科

- ・UCBでのGSP コース「メディアと地球規模の抗議運動」
- ・2013年7月8日 - 2013年8月16日
- ・afcindrev@gmail.com

稻田泰明



- ・東大、2年・法学部
- ・イエール大学でのGSPコース「持続可能性と施設・機関」
- ・2013年6月30日 - 2013年8月9日
- ・insomnia.pengweng@gmail.com

イエール大学の英語研修学校（ELI）、夏季講習（YSS）

近藤那子

・東大、3年・教養学部、国際関係

- ・”U.S. Strategy After the Cold War” と “Film, Video, and American History”
- ・2013年7月8日 - 2013年8月8日
- ・nako.kondo@gmail.com

大藪浩平



- ・東大、修士1年・航空宇宙工学専攻
- ・English Language Institute: “Intensive English for College Students”
- ・2013年7月1日 - 2013年8月9日
- ・oyabu@aast.tu-tokyo.ac.jp

富永順也



・東大、2年・学際情報学府

- ・English Language Institute: “Intensive English Program”
- ・2013年7月1日 - 2013年8月9日
- ・tominaga.wft.jt@gmail.com

その他の夏季講座

高橋元貴



- ・東大、4年・農学部
- ・UCB でのサマー・インスティチュートのコース、「環境設計と建築設計」
- ・2013年7月8日 - 2013年8月16日
- ・t-genki@lvc.itsudemo.net

エンクトツヴシン・ターボルド



・東大、修士2年・経済学部

- ・UCB での「英語研修」
- ・2013年7月29日 - 2013年8月16日
- ・turbold88@gmail.com

東大でのGSP (Global Summer Program)

ヴィボル・ヘング



- ・イエール大学、3年・分子生物物理学と生化学
- ・「ナノサイエンス」と「日本語入門」・2013年7月1日 - 2013年7月25日
- ・vibol.heng@yale.edu

パティ・ラン



- ・イエール大学、3年・人類学
- ・“現在の世界における日本”と「日本語入門」・2013年7月1日 - 2013年7月26日
- ・patty.lan@yale.edu

ジェシカ・ウォング



- ・カリフォルニア大学バークレー校、3年・コンピュータ・サイエンス
- ・「持続可能な都市開発」と「ナノサイエンス」・2013年7月1日 - 2013年7月26日
- ・jesca116@berkeley.edu

UTRIP (University of Tokyo Research Internship Program)

アニルッダ・ババト



- ・カリフォルニア工科大学、3年・物理学
- ・宮下精二教授（物理）・2013年6月10日 - 2013年7月19日
- ・abapat@caltech.edu

クリスタ・ダミット



- ・プリンストン大学、2年・化学
- ・橋和夫教授（化学）・2013年6月10日 - 2013年7月19日
- ・kdummit@princeton.edu

エルトン・ホー



- ・ヴァージニア大学、3年・物理学
- ・相原博昭教授（物理）・2013年6月10日 - 2013年7月19日
- ・ch4gy@virginia.edu

マッシュウ・クビッキ



- ・イエール大学、3年・生物化学と生物物理学
- ・塩見美喜子教授（生物化学）・2013年6月10日 - 2013年7月19日
- ・matthew.kubicki@yale.edu

アラナ・オガタ



- ・ウィリアム&メアリ大学、3年・化学
- ・山内薰教授（化学）・2013年7月1日 - 2013年8月9日
- ・afogata@email.wm.edu

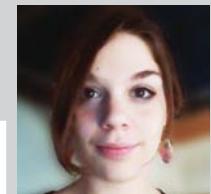
ジェイコブ・シュメルツ



- ・テキサス大学・オースティン校、2年・物理学と天文学
- ・牧島一夫教授（物理）・2013年7月1日 - 2013年8月9日
- ・jschmelz@utexas.edu

MISTI (MIT International Science and Technology Initiatives)

ヴィクトリア・ウィンターズ



- ・MIT、3年・原子力科学
- ・高瀬雄一教授・江尻晶教授（プラズマ物理・核融合）・2013年6月11日 - 2013年8月31日
- ・vwinters@mit.edu

チャン・アン・ユー



- ・MIT、4年・生物工学
- ・上田卓也教授（生命科学）・2013年7月1日 - 2013年8月2日
- ・chung-an.wu@ucsf.edu

東大での二つのレセプション

東大の理学部の UTRIP (University of Tokyo Research Internship Program) に参加した学生達を歓迎するレセプションが 2013 年 7 月 11 日に開催された。今年度は 28 人の学部学生が全世界から選ばれましたが、その中には Friends of Todai のスカラシップに応募した米国大学の学部学生 120 余名から選考された受賞者 6 人も含まれました。学生達は全員東大理学部の研究室で夏季インターンとして研究に従事しました。

FOTI がスカラシップの数を昨年の 3 件から今年は 6 件に倍増したことにつき、UTRIP 担当のプロジェクト・スペシャリストである添田幸子氏がレセプションの場で感謝の意を表された。プラズマ物理の国際会議に出席のため東京を訪問中であった FOTI の大学関係担当理事でスカラシップ審査委員長の山田雅章博士は、レセプションに招待され、挨拶をした後 FOTI の受賞者各人に会いました。

山田博士は「この東京の猛暑のなか、UTRIP に参加された学生たちの研究への強い熱意に非常に感銘を受けました。このような交換プログラムに参加された学生は国際的な視野を大きく広げる事になるでしょう。FOTI の努力は十分に報われた思います」と語り、更に、将来東大に大学院生として戻ってくるよう奨励しました。

UTRIP は最も効果的に運営されている夏季プログラムの一つであり、全世界からの応募者が昨年度の 310 人から今年は 430 名に増えました。特に米国からの応募者は昨年度の 62 名から 120 名に増加し、ほとんどの応募学生は一流大学のトップクラスの学生でした。

今年のグローバル・サマー・プログラム (GSP) に参加した海外からの学生達への「歓迎送会」が 7 月 12 日（金）に東大本郷キャンパスの医学部研究棟にあるカポ・ペリカーノで開催されました。海外からの GSP 参加者 41 名と東大からの参加学生 5、IARU サステイナビリティ交換プログラム参加者 2 名に加え、学生の自主団体で GSP などの交換プログラムを企画する「東京大学学生国際交流機構(UT-IRIS)」から 3 名の東大生が参加しました。

江川雅子東大理事（兼 FOTI の理事）の挨拶、羽田正東大副学長の乾杯で始まり、昨年と同様各学生による自己紹介が行われました。最後は東大での GSP を設立当初から担当している藤原毅夫総合教育研究センター特任教授の挨拶で締めくくりました。江川理事は「グローバル・キャンパスを目指す東大では IARU グローバル・サマー・プログラムは短期プログラム中の主力（フラッグシップ）であり、私どもは当プログラムの強化に努めてきました。東大生と GSP 参加の外国人学生の間で友情、パートナーシップが育まれることを心から願っています」と述べました。

FOTI 奨学金を受賞したイェール大学のヴィボル・ヘングさんとパティ・ランさん、カリフォルニア大学バークレー校から参加したジェシカ・ウォングさんは、江川理事や国際本部のスタッフと歓談し、東大で貴重な経験を積むことが出来たことに対し FOTI に感謝していると語りました。



挨拶する山田雅章FOTI理事

カブリIPMUプログラムへFOTIの支援続く

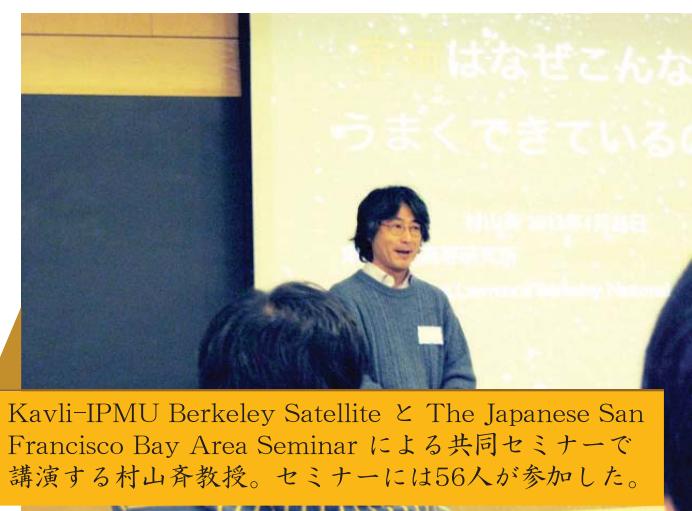


Kavli Institute for Physics and Mathematics of the Universe. (Courtesy: University of Tokyo)

FOTIの支援により、カブリIPMUの東大生はバークレーでのコースに一学期にわたり出席することも可能になります。長期滞在により、より大きな共同研究の成果が得られることもわかりました。これらの共同研究の一つはすでに極めて重要な論文の発表に繋がりました。長期滞在が交換プログラムをより有意義で効果的にすることが判明したので、カブリIPMUは今年も同様な方針をとる計画です。

FOTIは昨年度に引き続き、東大のカブリIPMU(カブリ数物連携宇宙研究機構)とカリフォルニア大学バークレー校のBCTP(バークレー理論物理学センター)の共同研究に1万ドルの研究助成金を授与しました。この研究助成の主たる目的はバークレーと東大の若手研究者(即ち大学院生やポスドク)の国際交流経験を促進することにあります。カブリIPMUの学生達は素粒子理論物理学の幅広い分野で活気あるバークレーの研究環境に触れることができます。若手の研究者にとって、研究と文化の両面でこのような体験を持つことはグローバルな研究組織の中で彼等のキャリアを伸ばしていく上できわめて重要です。特に、東大大学院生にとり、この交換プログラムは貴重な機会になります。

研究目標の観点では、BCTPとカブリIPMUは次の四つの主要分野で研究対象を共有しています：1)大型ハドロン衝突型加速器(LHC)を使いヒッグス(Higgs)や新しい物理を探索すること、2)大規模な天文測量における大規模構造とダークエネルギーの研究、3)地下実験でのダークマターの研究、4)弦理論(string theory)に基づく統一理論と新しい数学を築くこと。双方の研究機関では客員研究員と受け入れ側の研究員を彼等の興味の類似性に基づいてマッチさせ、関連あるセミナーや講義などに出席することを勧めています。



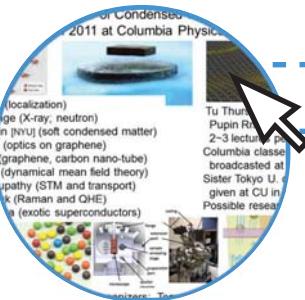
Kavli-IPMU Berkeley Satellite と The Japanese San Francisco Bay Area Seminarによる共同セミナーで講演する村山斉教授。セミナーには56人が参加した。

コロンビア-東大の共同講義への資金提供二年目に入る



FOTI は植村泰朋コロンビア大学教授(Prof. Yasutomo Uemura) が主催するコロンビア大と東大の合同講義プログラムへの研究助成金を更新しました。2011 年に東大とコロンビア大によるアウトリーチ活動（この分野を広く普及させる努力）として“凝縮体物理学の最前線”Frontiers of Condensed Matter Physics (F-CMP) というカリキュラムがスタートしましたが、この講座は生中継または録画されたビデオ講義を使用し、内容は大学院一年生のレベルに合わせてあります。2012 年秋学期に日本人教授陣によるビデオ放映された物理学の講義を植村教授の指導のもとに受講したコロンビア大の学生 14 人が、2013 年 3 月に東京と京都に 10 日間の研修旅行をしましたが FOTI はこの旅行費用の一部を援助しました。

東大生のために企画された 2012 年のニューヨーク研修旅行とコロンビア大学の学生のための 2013 年の日本研修旅行と同じように、今年の FOTI の助成金は、大学院生の研修旅行（東大から二名、京大から一名、コロンビア大から三名）の費用の一部を支援するために使われます。旅行参加の学生達は、訪問先で F-CMP の教授陣と大学院生達との共同研究に従事する予定です。更に 2013 年秋学期には、コロンビア大で F-CMP の生中継の講義コース (G6022) が計画されています。このコースではコロンビア大学物理学の教授陣 (2 - 3 人) とコロンビア大学を二か月間訪問する予定の東大の内田教授に加え、ラトガース大学、ライス大学の教授数人が講義を担当します。

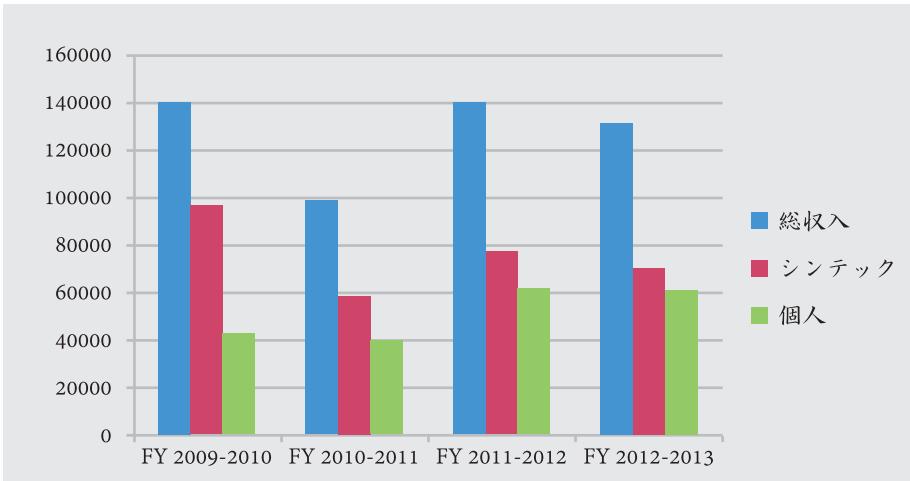


プロジェクトについての植村教授のビデオをご覧ください player.vimeo.com/video/75506954

2012 - 2013会計年度の募金結果と会計報告

2012/13 会計年度（2012 年 7 月 1 日 - 2013 年 6 月 30 日）の募金活動は、大成功だった前年度のレベルには達しなかったものの、成功裡に終了しました。低金利のためシンテック社信託基金からの収入が減少したこと、募金総額は 5% 減少する結果になりました。しかし、個人の皆様からの寄付総額は昨年同様の高水準を保つことが出来ました。厳しい経済情勢にも拘らず今年も成功裡に終わりましたのは、ひとえに、皆様方からの寛大な支援のお蔭であります。心より感謝申し上げます。

右のグラフから以下の観測が出来ます。まず、最初の 2 年間に比べ、最近の 2 年間の個人献金の総額（緑で示す）が大幅に増加したことです。2009/10 年度と 2010/11 年度の個人献金の総額が \$43,200 (42) と \$40,192 (45) であったに対し、2011/12 年度と 2012/13 年度は \$62,005 (77) と \$61,320 (73 名) になりました。次に、シンテック社の信託基金からの利息収入額が 2009/10 年度に \$96,432 を記録したのですが、それ以来、米国債からの収入の低下の影響を被っています。2012/13 年度は \$70,076 であり、2011/12 年度の \$77,155 から 9% 減少しました。昨今の低金利が我々のキャンペーンにもたらす悪影響は大きく、収支を合わせるために何らかの対策を講じなければならない状況であります。



2012 – 2013会計年度財務諸表の要約

貸借対照表（単位：U.S.ドル）

固定資産	1,014
パソコン (未償却分)	1,014
流動資産	171,492
当座預金、普通預金	171,492
資産合計	172,506

固定負債	0
-------------	---

流動負債	0
-------------	---

負債合計	0
資本合計	172,506
	172,506

負債・資本合計

損益計算書（単位：U.S.ドル）

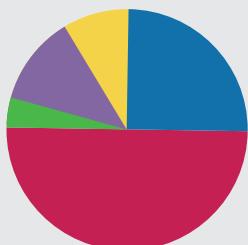
経常費用	108,122
グラント (研究助成金、奨学金)	94,500
業務費用	13,622
経常利益	24,186

経常収益	132,308
寄付金	131,946
その他収益	362
受取利息	362

2012-2013 会計年度末資産合計 172,506

円グラフは個人献金のグループや地域による内訳です。\$61,320 の個人献金総額のうち、\$30,500 が FOTI の理事会または諮問委員会のメンバー 13 名からの寄付です。個人献金総額の 4 分の 1 にあたる \$15,520 は日本の同窓生 17 名からの寄付です。シカゴ赤門会をはじめとする 8 名のシカゴ地域の同窓生からの寄付が \$7,400、22 名のニューヨーク銀杏会会員（上記 FOTI の理事または諮問委員を除く）からの寄付が \$5,300、カリフォルニアの 4 名の同窓生からの寄付が \$2,300 でした。

個人献金のグループや地域による内訳
2012 年 7 月 - 2013 年 6 月 : \$61,320



- 日本の同窓生 (17)
- 理事会・諮問委員会 (13)
- カリフォルニアの同窓生 (4)
- イリノイの同窓生 (8 + 1 group)
- ニューヨーク銀杏会会員 (16)

\$108,122 となりました。業務費用が少ないのは FOTI を支える多くの方々がボランティアで労働を提供くださることが一因として挙げられ、関係者一同に深く感謝申し上げます。今年度の経常利益は \$24,186 で、FOTI の資金面での運営を更に安定させていくことに役立つことになります。

小林久志理事長は、「シンテック社と多大なご寄付を賜った日本と米国内の皆様に深く感謝致します。さらに多くの方々からご支援をいただき、FOTI の公共慈善団体としての資格を堅持して行きたい所存です。若い世代の人たちが海外での勉学やインターンシップなどを通じてグローバルな経験を得られるよう、今後さらに多くの同窓生や有志の皆様が私たちの活動をご支援くださることを願っております」と述べています。

今年度の研究助成金および奨学金の支給額は \$94,500 となり、昨年度の \$85,950 よりも \$8,550 (9.9%) 多い額を提供することができました。業務費用の \$13,622 を加え、支出総額は

2012-2013会計年度寄付者芳名録

法人	シカゴ赤門会有志 (14名)	Friends (\$250-\$499)	名前のみの方々
	\$1,200		
Benefactor (\$25,000 以上)	落合卓四郎 \$1,120	(故)白成基 \$250	生駒俊明 今井健一
Shintech社 † \$70,075.86	青木昭明 \$1,000	山田健一朗 \$250	浦田伸夫 片山泰尚
†5百万ドルの信託基金からの 今年度配当分	大迫政子 \$1,000	\$250未満のご寄付	龜田壽夫 鴨崎 晃
個人	岸岡駿一郎 \$1,000	匿名 \$200	木村英一郎
Sponsor (\$10,000-\$24,999)	行天豊雄 \$1,000	匿名 \$200*	久保賀弘 小宮山 宏
小林久志 \$10,000	(故)小林昭七 \$1,000	松谷英明 \$120	斎藤 洋
Donor (\$1,000-\$9,999)	三浦宏一 \$1,000	川島義之 \$100	佐藤奈穂子
市原博司 \$6,000	山田雅章 \$1,000	青本和彦 \$100	清水秀久
伊藤澄子 \$3,000*	河原春郎 \$1,000	林啓一郎 \$100	武神淳之
辻田淳二 \$3,000	渡邊泰秀 \$1,000	洪政国 \$100	塚本一弘
江川雅子 \$2,500	匿名 \$1,000	阪本晃一 \$100*	中島 篤 藤崎哲之助
岡本康夫 \$2,500	Supporting Member (\$500-\$999)	匿名 \$300*	松下重惠、スミエ
小野誠英 \$2,000*	Ko-Yung Tung \$500	匿名 \$100	村野和雄
桑間雄一郎 \$2,000	吉田洋一 \$500	匿名 \$100	森谷 亨 安井南平
桜井本篤、信子 \$2,000		久米 努 \$80	渡邊亮太
杉山健一 \$2,000			

総計 1法人、73人、\$131,946

* マッチング・ギフトを含めた金額。

下記の企業・財団からマッチング・ギフトをいただきました：
米国三菱商事、ステート・ストリート銀行財団、みずほ銀行、米国三井物産